Kaibab Lake Campground by Kaibab National Forest（Creative Commons 2.0 CC BY）

# 立命館大学交響楽団第 111 回定期演奏会

The 111th Regular Concert of Ritsumeikan University Symphony Orchestra

ブラームス　**交響曲第 2 番二長調**

J.Brahms： Symphony No.2 in D major

ドヴォルザーク　**チェコ組曲**（学生指揮）

A.Dvorak： Czech Suite

J. シュトラウス　**喜歌劇「こうもり」序曲**

J.Strauss： Die Fledermaus Overture

指揮　**阪　哲朗**　　竹下　裕也（学生）

## 2014 年 5 月 16 日（金）

## ザ・シンフォニーホール

**開場　18:00　　開演　19:00**

**一般　1000円　全席自由（一部指定）**

※誠に勝手ながら、未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

チケット販売場所
- ●チケットぴあ（各店舗、サークルK・サンクス）/Pコード予約　Pコード：226-589
  TEL　0570-02-9999（24時間受付可）
- ●JEUGIA三条本店APEX管楽器 /APEX弦楽器
- ●ザ・シンフォニーホールチケットセンター
  TEL06-6453-2333（10 時～ 18 時まで受付可・火曜定休）
- ●立命館大学生協衣笠・BKCプレイガイド

■お問い合わせ　http://www.ruso.s297.xrea.com/　E-mail ruso_info@yahoo.co.jp　TEL 070-5275-5976（広報・宮﨑）

# 立命館大学交響楽団 (Ritsumeikan University Symphony Orchestra)

立命館大学交響楽団（通称立響）は、1955 年に創団された。当時、当団名誉会長の故伊吹新一氏をはじめとするわずか数名の有志によって結成されたオーケストラであったが、現在は約 120 名の団員を擁するまでに発展した。

創立以後、春季・冬季の演奏会を定例化し、2008 年 12 月には第 100 回目の定期演奏会を開催するなど、2014 年現在で 110 回を数える定期演奏会を実施している。

立命館大学の誇る学生団体として各種の学園・大学行事にも参加、定期演奏会もしばしば大学行事として位置づけられている。1981 年の「大学創立 80 周年・衣笠移転事業完成記念　第 46 回定期演奏会」でのベートーヴェンの第九交響曲の公演以来、1994 年には「びわこ・くさつキャンパス（BKC）および政策科学部開設記念　第 72 回定期演奏会」において、マーラーの交響曲第 2 番「復活」に挑戦、また 2000 年には「立命館創始 130 年・大学創立 100 周年　第 84 回定期演奏会」を成功させてきた。
1997・1999 年には「立命館アジア太平洋大学開学記念事業」として別府市・大分市での演奏会を開催するなど、立命館学園の発展とともにその活動範囲も拡大しつつ「地域に根差した学生オーケストラ」として、衣笠キャンパスのある京都、BKC のある滋賀での定期演奏会を定例化、また 2015 年に新規開設される大阪いばらきキャンパスのある大阪での演奏会定例化も予定している。2013 年 9 月にはその茨木市からの要請で特別演奏会を行い、茨木公演を大成功おさめた。

2004 年には楽団創立 50 周年を迎え、ドイツを拠点として活躍中の阪哲朗氏を招聘し、氏は創立 50 周年記念第 92 回定期演奏会のベートーヴェンの第九交響曲の圧倒的な大成功へ当団を導いた。翌年、長期視点での楽団の育成・強化の取り組みを開始し、技術・運営両面でのさらなる活動水準の向上を目指すために、阪哲朗氏をオーケストラアドヴァイザーとして招聘した。

近年では、2004 年の第 91 回定期演奏会にて、ヴァイオリニストの千住真理子氏とチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲で共演し、2007 年には高知県で喜歌劇「こうもり」の演奏も行い、オケピットも経験している。2008 年に第 100 回記念定期演奏会にて、ストラヴィンスキー「春の祭典」、当団オーケストラトレーナーを務め且つ著名なピアニストでもある中橋健太郎左衛門氏により、モーツァルトのピアノ協奏曲第 20 番ニ短調などを阪哲朗氏の指揮のもとに行った。また 2009 年には金聖響氏を通年で招聘、2013 年の 2 月には大分県へ自主的な演奏旅行を阪哲朗氏の指揮のもと行い、近年の活動はすべての演奏会で大好評をいただいている。

2015 年度に創団 60 年を迎えることから、2014 年度はその「プレ・イヤー」として、学生オケでは演奏することが稀であるオペラ「カルメン」に挑戦し、初の通年でのオーケストラアドヴァイザーの阪哲朗氏による定期演奏会での指揮や指導がされる予定となっている。また、2015 年度には東京への演奏旅行も企画しており、「地域に根差した学生オーケストラ」から「国内最高水準の学生オーケストラ」へと発展するために日々の活動を精力的に行っている。将来的には海外演奏旅行を実施することを目標に掲げ、「世界の立響」へと飛翔することが期待されている。

# 阪　哲朗 (Tetsurou Ban, Conductor)

阪哲朗は欧米での客演が数多く、これまで主にドイツ・オーストリア・スイス・フランス・イタリアなどで約 40 に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。日本では NHK 交響楽団をはじめ各地の主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。とりわけ 2008/09 年の年末年始に、ウィーン・フォルクス・オーパーで、同歌劇場の年間のハイライトとも言うべき公演である「こうもり」を指揮し、大変な話題となった。地元ウェブ・サイト “オペラ・ウィーン” では『成功した大晦日』と題して “阪哲朗によるオーケストラは、躍動感あふれる熱のこもった演奏をした。それどころか弦楽器には官能的に悦びにふける何かさえあった” と絶賛された。同歌劇場では「ファルスタッフ」「カルメン」「トスカ」「蝶々夫人」などを指揮している。
京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にて K・エステルライヒャー、L・ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。1992 年、スイス（ベルン州）ビール市立歌劇場専属コレペティトゥーア兼指揮者、1997/98 年ランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、1998/99 年のシーズンからはベルリンの コーミッシェ・オーパー専属指揮者を歴任。同歌劇場では、1999 年 H・クプファー新演出による「天国と地獄」、2000 年 A・ホモキ演出による「ファルスタッフ」、2001 年 2 月 M・シューラー新演出による「リゴレット」などを手がけ、2002 年 7 月までに約 20 演目 170 回余を指揮した。2005/06 年のシーズンより、アイゼナハ歌劇場（ドイツ・テューリンゲン州）の音楽総監督、2007 年 4 月より、山形交響楽団首席客演指揮者を務める。2009/10 年のシーズンより、レーゲンスブルク歌劇場（ドイツ・バイエルン州）の音楽総監督（GMD）に就任後、レーゲンスブルクにおいて、オペラ、コンサート併せて年間約 50 回の公演回数をこなしている。今シーズンのプレミエは「放蕩者の遍歴」「ボエーム」バレエ「春の祭典」「魔笛」、来シーズンは「トリスタンとイゾルデ」「リゴレット」「蝶々夫人」が予定されている。コンサートの分野ではスタンダードな作品のみならず、地元にゆかりのある作曲家の作品を積極的に取り上げ、市内の青少年合唱団、大学の合唱団そして歌劇場の合唱団と共にハイドン「天地創造」を上演し、2012 年 7 月にはレーゲンスブルク少年合唱団とモーツァルトの「戴冠ミサ」の上演、2014 年 6 月にはベートーヴェンの第九交響曲を上演予定しており、市

の音楽総監督として年々新たな聴衆、定期会員を獲得することに成功している。また、レーゲンスブルク市の要請により当初の 3 年契約をさらに 3 年延長することが決定した。
1995 年「第 44 回ブザンソン国際指揮者コンクール」優勝。1996 年京都府文化賞奨励賞、1997 年度 ABC 国際音楽賞、2000 年京都市芸術新人賞、2000 年第 2 回 ホテルオークラ音楽賞、2004 年度第 12 回渡邉暁雄音楽基金音楽賞、2006 年度第 26 回藤堂顕一郎音楽賞受賞。

ザ・シンフォニーホール

- JR 大阪環状線 福島駅から北へ徒歩約 7 分。
- JR 東西線 新福島駅 1 番出口から北へ徒歩約 10 分。
- 阪神電車 福島駅 2 番出口から北へ徒歩約 10 分。
- JR 大阪駅から西へ徒歩約 15 分。

## 立響友の会会員募集中！

チケットのプレゼントや演奏会での
座席指定など、特典がたくさんございます。

年会費：一般 3000 円 / 学生 1000 円